

| 章 | 節 | 項目 |
|--------------------|--|---|
| 第1章 心不全療養指導士の役割・機能 | 1 日本心不全療養指導士制度の目的 2 日本心不全療養指導士制度の役割 | |
| 第2章 心不全の概念 | | |
| 第3章 療養指導の基本 | 1 患者教育に必要な基礎的理論 2 療養指導の評価および修正 | |
| 第4章 心不全の予防活動 | 1 心不全における予防の重要性 2 予防啓発活動 | |
| 第5章 心不全の診断, 成因, 検査 | 1 心臓の構造 | |
| | 2 心臓の働き (健康人) | |
| | 3 心臓の基礎疾患の特徴 | a. 虚血性心疾患 b. 心筋症 c. 心筋炎 d. 心毒性心筋障害, 浸潤性疾患 e. 高血圧 f. 弁膜症・先天性心疾患 g. 不整脈 h. 肺高血圧症 |
| | 4 心不全の身体所見 | a. Nohria-Stevenson分類: うっ血・低灌流の所見と自覚症状 b. NYHA分類 c. 身体活動能力質問票 (SAS) |
| | 5 検査 | a. バイオマーカー (BNP/NT-proBNP) b. 胸部単純X線写真 c. 心エコー d. 心臓カテーテル検査・生検 e. 血液検査 |
| 第6章 心不全の治療 (総論) | 1 薬物治療 | a. 心不全治療概論 b. β遮断薬 c. ACE阻害薬・ARB・MRA・ARNI d. 利尿薬 e. その他 |
| | 2 非薬物治療 | a. 植込み型除細動器 (ICD) b. 心臓再同期療法 (CRT) c. 陽圧呼吸療法, 在宅酸素療法 d. 運動療法 e. 手術 f. 植込み型人工心臓・心臓移植 |
| | 3 併存疾患の治療 | a. 糖尿病 b. 慢性腎臓病 (CKD) c. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) d. 貧血 e. 無呼吸症候群 |
| | 4 その他の治療 (妊娠期) | |

| | | |
|----------------------|--|--|
| 第7章 心不全の療養指導 | 1 患者教育に活用する心不全に関する知識 | a. 定義, 原因, 症状, 病みの軌跡 b. 増悪の誘因: 医学的因子と生活因子 |
| | 2 セルフモニタリングと定期受診・増悪時の対応 | a. モニタリングの方法 b. 患者手帳の活用 c. 定期的な受診の必要性 d. 増悪時の対応 |
| | 3 服薬アドヒアランスへの支援 | a. 服薬アドヒアランス不良の定義と要因 b. アドヒアランスの評価 c. 服薬アドヒアランスの向上策 |
| | 4 栄養管理 | a. バランスのよい食事の重要性 b. 適正な塩分管理 (6g未満/日) c. 適正体重の維持 d. 飲水制限 e. サルコペニア・フレイル・カヘキシー f. 栄養アセスメント g. 併存疾患における食事療法 |
| | 5 身体活動と運動 | a. 運動の種類, 強さ, 時間と回数 b. 運動耐容能の評価 c. 具体的な運動の方法 d. 運動をしてはいけないとき, 注意点 |
| | 6 禁煙支援 | a. 禁煙の必要性 b. 禁煙支援の具体的方法 c. 禁煙外来における禁煙治療の流れ |
| | 7 日常生活の心がけ | a. 活動の目安 b. 適切な入浴方法 c. 排便コントロール d. 過度なアルコール摂取の危険性 e. 感染予防とワクチン接種 f. 日常生活のストレスマネジメント |
| | 8 心理的支援 | a. 心不全と心理精神的变化 b. 抑うつスクリーニング c. 対応の検討 (コミュニケーション, 専門家への連携など) d. せん妄のアセスメント, 介入, 支援 |
| 第8章 心不全ステージ別の療養指導の実際 | 1 ステージAに対する療養指導 2 ステージBに対する療養指導 3 ステージCに対する療養指導 4 ステージDに対する療養指導 | |
| 第9章 特殊な病態時の療養指導 | 1 認知機能低下のある患者への対応 | |
| 第10章 特殊な状況時の療養指導 | 1 季節の変化に伴う対処 2 旅行 3 災害時・医療安全上の留意点 | |
| 第11章 心不全の緩和ケア | 1 心不全におけるACP 2 意思決定支援 3 末期心不全における症状と緩和 | |
| 第12章 病院と在宅の連携 | 1 チーム医療の提供 | |
| | 2 心不全における在宅医療 | a. 在宅医療の基本的な考え方 b. 病院と在宅医療の連携 c. 在宅で働く職種と役割 (理解) d. 福祉制度の活用 |
| | 3 家族・介護者への支援 | a. 心不全患者の家族あるいは介護者が抱える問題 b. 家族あるいは介護者への支援 |
| | 4 心不全医療における地域連携 | a. 心不全医療における地域連携の重要性 b. 地域連携を促す多職種カンファレンス |